

償却資産申告書の書き方 (例)

第二十六号様式 (提出用)

平成 年 月 日
 受付印 (宛先) 津島市長
 平成 28 年度 償却資産申告書 (償却資産課税台帳)
 ※所有者コード
 記入する必要はありません。

法人番号又は個人番号を記載してください。

1. 住所
 住所と納税通知書送付先が異なる場合には納税通知書送付先を[]書きで併記してください。
 異動があった場合は、「18 備考」欄に変更前のもの及び異動年月日を記入してください。
 2. 氏名
 法人の場合は社印を押印してください。

1 (ふりがな) 住所 〒460-0008 なごやしなかくさかえ 名古屋市中区栄〇〇丁目〇番〇号	3 個人番号又は法人番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	8 短縮耐用年数の承認	有	・	無
[又は納税通知書送付先] 〒496-0044 つしましたてこみちよう 津島市立込町〇丁目〇番地 (株) △△商事 津島支店 (電話 0567-22-〇〇〇〇)	4 事業種目 (資本等の金額)	織物業 (2.5 百万円)													9 増加償却の届出	有	・	無
	5 事業開始年月	S.54年 5月													10 非課税該当資産	有	・	無
2 (ふりがな) 氏名 (株) △△商事 代表取締役 津島 一郎 (印)	6 この申告に回答する者の係及び氏名	経理係 津島二郎 (電話 0567-22-〇〇〇〇)													11 課税標準の特例	有	・	無
[法人にあってはその名称及び代表者の氏名]	7 税理士等の氏名	■会計事務所 津島三郎 (電話 0567-22-□□□□)													12 特別償却又は圧縮記帳	有	・	無
	13 税務会計上の償却方法 (定率法・定額法)															14 青色申告	(有)	・

該当する方を○で囲んでください。

1. 「1」の住所と資産所在地が異なる場合
 2. 市内に2ヶ所以上、資産を所有する事業所等がある場合

資産所在地を記入してください。

リース資産などの有無について該当する方を○で囲んでください。借用資産がある場合には、貸主の住所・名称・電話番号等を記入してください。

該当する方を○で囲んでください。

資産の種類	取得価額				(計(イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)
	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)		
1 構築物	1,500,000	0	0	0	1,500,000
2 機械及び装置	3,600,000	100,000	2,300,000	5,800,000	5,800,000
3 船舶					
4 航空機					
5 車両及び運搬具					
6 工具、器具及び備品	140,000	70,000	330,000	400,000	400,000
7 合計	5,240,000	170,000	2,630,000	7,700,000	7,700,000

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地
 ① 津島市神守町五反田〇番地
 ②
 ③

16 借用資産 (有・無)
 貸主の名称等 (株) □□リース Ⅱ0567 (22局△△△△)

(ロ)「前年中に減少したもの」平成27年1月2日から平成28年1月1日までの間に減少した資産の取得価額を記入してください。
 (ハ)「前年中に取得したもの」平成27年1月2日から平成28年1月1日までの間に取得した資産の取得価額を記入してください。

資産の種類	評 価 額 (ホ) ※	決 定 価 格 (ヘ) ※	課 税 標 準 額 (ト)
1 構築物			
2 機械及び装置			
3 船舶			
4 航空機			
5 車両及び運搬具			
6 工具、器具及び備品			
7 合計			

記入する必要はありません。
 ※電算処理により申告書を作成される場合は記入してください。

17 事業所用家屋の所有区分 (自己所有・借家)

18 備考 (添付書類等) 該当する項目に○をつけて下さい。
 ① 資産増減あり ② 増減なし ③ 該当資産なし
 ④ 廃業・解散・転出等 (平成 年 月 日)

1. 資産の異動について該当する番号を○で囲んでください。なお、「4」に該当する場合は年月日も記入してください。
 2. 添付書類の名称・特記事項等を記入してください。